

秋 田 県 農 業 法 人 協 会

令 和 7 年 度 事 業 計 画

〔令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日〕

【活動方針】

我が国の農業は、激動する国際情勢や異常気象の頻発化、国内の人口減少などに加え、基幹的農業従事者は、平均年齢69歳と高齢化し111万人から2040年には30万人程度へ激減と推計されるなど様々な課題に直面しており、特に食料安全保障の確保に向けて、農業者・消費者双方が納得する食料の安定的な供給システムの構築が急務です。

こうした中、国は、昨年6月5日施行の改正食料・農業・農村基本法の基本理念（食料の安定供給の確保、農業の多面的機能発揮、農業の持続的な発展、農村の振興）に基づき、施策の方向性を具体化した新たな「食料・農業・農村基本計画（R7.4.11閣議決定）」を策定し、平時からの食料安全保障を実現する観点から、初動5年間で農業の構造転換を集中的に推進することとし、毎年、計画目標の達成状況の調査・公表・検証を行い、その結果を踏まえて施策の見直しを行っていくとしています。

一方、本県の認定農業法人は年々増加し900法人ですが、後継者の確保に苦慮する集落型農業法人も見受けられ、県では、経営力の高い意欲ある経営体が地域農業の担い手として発展するよう、経営規模の拡大や複合化・多角化等の経営基盤の強化、次代への円滑な経営継承に向けた取組を総合的にサポートするとしています。

こうした中、我々は日本農業法人協会会員として、県内の農業法人のトップランナーとの自覚を持ちながら、農業を職業として誇り創意工夫による農業経営を展開し、若者に夢や希望を託せる魅力ある産業に発展させる必要があります。

このためにも、更なる関係機関等との業務連携を始め賛助会員の皆様の協力を通じて、会員の多様な経営スタイルに合わせた経営力・所得向上へ繋げるため、全国や県内の仲間の情報ネットワークを駆使して、地域貢献・社会貢献も視野に、会員相互の研鑽や連携・強化を図る活動を展開します。

【ポイント】 ～農業界が職業として若者に選ばれる第1位の業界を目指して～

- 1 経営力強化と“自己生産物の物語”を売り相互研鑽
- 2 賛助会員、協定締結関係機関等との連携・協調
- 3 日本農業法人協会秋田県支部として、地元貢献及び会員拡大

【実施事項】

1 会議の開催

- (1) 総会（第32回）

令和7年度事業計画・予算や理事及び監事の選任等を決定するため、総会を開催する。併せて、総会記念講演を兼ねて農業経営者トップセミナーを開催する。

○期 日 7月1日（火）

○場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田

○出席者 来賓、会員、賛助会員

○内 容

《議事》

- ・ 令和6年度事業報告及び収支決算の承認の件
- ・ 令和7年度事業計画案・予算案・会費等の決定の件

《記念講話、情報提供》

（2）監査会

○期 日 4月7日（月）

○場 所 秋田市 協同組合秋田市民市場

○出席者 監事、会長

○内 容 令和6年度事業実施状況及び会計執行状況等について

（3）役員会

事業計画にある各種活動の実施日程や内容の検討を始め、会員拡大や活動スケジュールなどを協議するため、役員会を随時開催する。

2 例会の開催

農林中央金庫秋田支店様との共催による専門家や先進農業法人による講演、会員や若手会員の経営事例の紹介をはじめ、会員の相互研鑽や情報交換・交流を図るため、例会を開催する。

併せて、会員以外の法人経営者や地区法人組織会員との交流を通じた組織活動の強化・活性化を図る。

○ 第1回 県央地区 7月30日（水）～31日（木） 男鹿市

○ 第2回 県南地区 9月上旬

○ 第3回 県北地区 12月上旬

3 セミナー等の開催

農林中央金庫秋田支店様や日本政策金融公庫秋田支店農林水産事業様等との共催により、農業法人の抱える課題解決への糸口を探るため、セミナー等を開催する。

（1）トップセミナー 〔農林中央金庫秋田支店様共催〕

農林中央金庫秋田支店様との共催により、日本農業法人協会会員や全国で活躍する農業経営者等を講師に迎えて、会員のトップマネージャーとしての経営管理能力及び生産技術の向上・発展に向けたセミナーを開催する。

○期 日 7月1日（火） 《総会終了後》

- 場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- 出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

(2) 農業経営持続化セミナー〔第3回〕 〔日本政策金融公庫秋田支店様共催〕

日本政策金融公庫秋田支店様と共催し、本県農業が抱える課題解決や持続的な発展に不可欠な従業員の定着率向上のための経営者の意識改革を図るため、研修・交流会を開催する。

- 期 日 11月下旬
- 場 所 秋田市
- 出席者 会員、若手会会員 ほか

(3) パートナー研修・交流会 〔若手会共催〕

当協会若手会と共催し、若手会会員や家族並びに従業員による相互研鑽や情報交換・交流を通じた農業経営の発展と組織活動の活性化を図るため、研修・交流会を開催する。

- 期 日 2月上旬
- 場 所 秋田市
- 出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

4 生産・経営体質強化活動

本協会と協定を締結している機関・団体や農業経営アドバイザーと連携しながら、会員の生産力や経営体質の強化を支援するほか、体質強化手法等について検討する研究会を開催し、その結果を政策提言などに反映させる取組を行う。

また、関係機関・団体等が主催するビジネスマッチングやセミナー・フェア等へ積極的に参加し、経営管理能力の研鑽を図る。

(1) 事業提携

覚書や協定を締結した関係機関・団体と適宜関係者を交えて情報交換を行うほか、連携・協力に関する活動を実施する。

ア 農林中央金庫秋田支店との協力 【随時】

包括的パートナーシップ協定に関する覚書（H27.6）に基づき、円滑な金融対応や人材育成、販路開拓など、会員の経営支援に向けて活動する。

イ 秋田県農地中間管理機構との連携 【随時】

農地中間管理事業の活用促進に向け締結した事業連携協定（H28.7）に基づき、県農地中間管理機構から農地の紹介等を受けるなど、会員の円滑な農地の集積・集約に向けて活動する。

ウ 公立大学法人秋田県立大学との連携・協力 【随時】

県立大学と法人協会との連携・協力に関する協定（H29.9）に基づき、県立大学の研究成果の普及等を通じた会員の生産現場への支援強化や、経営力向上への連携、協力体制の構築に向けて活動するほか、新春放談会（R7.1）を共催いただく。

- 第3回新1年生へ農業法人経営者からの講義 6月30日（月）
- 第11回情報交換会 10月下旬
- 第4回学生（学部3年生、院1年生）との意見交換会 11月下旬
- 秋田版スマート農業モデル創出事業コンソーシアム・構成員

【第7回総会 7/18、研究会、幹事会、専門分科会、見学会ほか】

エ アドバイザーによる支援活動 【随時】

金田経営アドバイザー（秋田県立大学名誉教授）による、会員への経営課題の整理・助言など通じた経営力の強化を支援する。

（2）研究会・政策提言

生産・経営体質の強化に向けたマーケティングや経営改善の手法等について研究し、日本農業法人協会の行う政策提言に反映させるとともに、本県農業の施策の展開に向けて県や農業団体等と意見交換を行う。

- ア 県農林水産部幹部との意見交換会 8月上旬 秋田市
- イ 全国農業協同組合連合会秋田県本部との情報交換会 11月上旬 秋田市
- ウ 生産強化・経営強化研究会（R8新春放談会） 1月上旬 秋田市
〔県立大学様共催予定〕
- エ 東北農政局と東北6県農業法人組織会長との意見交換会 2月下旬 仙台市

（3）販路拡大、交流・連携

農畜産物の利用促進と新たなビジネスの可能性を探るため、パートナーシップ協定を締結している農林中央金庫秋田支店をはじめとする賛助会員が主催するセミナー・ビジネスマッチング等や、関係機関・団体と行事を共催し積極的に参加する。

- ア 第18回アグリフードEXPO東京2025 <<（株）日本政策金融公庫主催>>
「国産」にこだわり広域に販路拡大を目指す農業者や食品加工業者とバイヤーをつなぎ、ビジネスマッチングの機会を提供するプロ農業者たちの国産農産物・展示商談会に出展した会員を支援する。

◇ 8月20日（水）～21日（木） 東京都・東京ビッグサイト

イ 県産食材マッチング商談会2025

コロナ禍で販売機会の現状を打破するため、県産食品の販路開拓等を目指す農業者とバイヤー等との商談会に参加する会員を支援する。

◇ 7月17日（木） 秋田市・秋田テルサ

ウ 国内農業視察研修

更なる経営力強化に向けて、作業効率改善や新製品の情報収集などを行うため、視察研修を実施する。

◇ 1月下旬 場所：未定

エ **新**販路拡大意見交換

会員の生産する農畜産物の販路拡大に向けて情報収集を図るため、昨年第3回例会で情報提供をいただいた百農社ジャパン合同会社などと意見交換を実施する。

◇ 3月上旬 場所：秋田市

オ 関係機関・団体との行事共催、交流・連携

◇ 大日本農会秋田支会研修会 [共催予定] 2月中旬 秋田市

◇ 農Future！！例会～講演会～ 《日本政策金融公庫主催》
2月上旬 秋田市

5 地域貢献・会員拡大活動

地域貢献の一貫として農業への就業希望者を受入れ、農業技術や経営管理能力を高めるための人材育成に取組ほか、地域で活躍する農業法人を会員へ誘導する。

(1) 組織強化・会員拡大

会員以外の経営者との連携を強化するため、例会等への参加を呼びかけ交流を図るとともに、関係機関・団体等の催事に参加するなどして会員拡大を働きかける。

◇ 会員56経営体（法人54、個人2） 《R7. 4. 1現在》

(2) 若手会への支援

東北ブロック農業法人協会若手組織研修会（当協会若手会設立10周年記念を兼ねる、8月28日～29日・秋田市）の開催県としての支援や、日本農業法人協会が主催する次世代農業サミットへの積極的な参加、ファーマーズ&キッズフェスタ2026への出展を後押しするため、経費の一部助成を目的に助成金（15万円）を交付するなど、若手会の自主活動を支援する。

(3) 雇用・人材育成

経営体質の強化に向けた人材育成と地域貢献の一貫として、国の雇用就農の総合的な推進のための事業等を活用して農業への就業希望者を受入れるほか、会員で受入れが増えている外国人材の受入れ・共生に関しても検討する。

(4) 地域貢献・社会貢献活動

農業法人の使命の一つである社会貢献・地域貢献活動の一環として、昨年30周年記念行事として実施した、常設「子ども食堂」（秋田市）等への食材提供を引き続き行い運営を支援する。

《令和7年4月から8月までに「秋田県産米」30kg玄米19袋（支援総量は、令和6年12月から会員5社の「秋田県産米」30kg玄米31袋ほか）》

6 日本農業法人協会秋田県支部活動

日本農業法人協会の秋田県支部として、同協会が行う事業・諸行事に参加・協力し、全国の仲間との情報交換と相互研鑽を積極的に進める。

なお、各種会合は対面での開催を基本となるが、感染症の状況等により開催方法がWeb併用となる場合や、開催を中止する場合もある。

(1) 総 会

○第49回 6月19日（木） 東京都

（2）都道府県会長会議等

- 第32回会長会議 5月29日（木） WEB
- 第33回会長会議 2月12日（木） WEB
- 経営強化委員会（桜田会長所属） 随時

（3）セミナー等

- 事務局会議 4月24日（木） 東京都
- 夏季セミナー 6月19日（木）～20日（金） 東京都
(終了後、自主研究会などを開催)
- 次世代農業サミット
 - 第15回 7月7日（月）～8日（火） 仙台市「仙台国際センター」
 - 第16回 1月7日（水）～8日（木） 東京都
- ファーマーズ&キッズフェスタ2026 2月28日（土）～3月1日（日）
東京都・代々木公園
- 春季大会・春季セミナー 3月12日（木）～13日（金） 東京都
(終了後、自主研究会などを開催)
- 新**雇入れ時農作業安全合同研修会（Web・4時間） 毎週金曜日

（4）都道府県組織等との連携

- 北海道・東北各県組織との連携強化をはじめ、全国の仲間との交流を促進してネットワークの拡大を図る。
- 北海道・東北農業法人WEEK2025 in あおもり
7月16日（水）～17日（木） 青森市「ウエディングプラザアラスカ」
 - 第22回東北・北海道農業法人協会会長・事務局会議 1月下旬

7 情報提供

関係機関・団体の主催する行事を会員へ広く周知するとともに、本協会ホームページで協会活動のPRや会員個々のホームページとのリンク、FCPシートの公開による新たなビジネスチャンスの創出等に取り組む。

また、SNSを活用した会員同士の交流場《お米LINE〔藤岡副会長〕》を運用しており情報交換を行うとともに、日本農業法人協会ではSNS（Facebook、LINE、農業の社長ラジオの配信等）で会員の活動や成果等を積極的に情報発信していることから、当協会や会員の活動情報を提供する。

8 会議等への参加

関係機関・団体等の主催する会議に出席し、本協会・農業法人として意見を述べるほ

か、研修会に積極的に参加し自らの経営のスキルアップを図る。

《委員等への就任：役割を分担》

- ◇（公社）秋田県農業公社 理事 桜田会長（R5.6～7.6）
- ◇秋田県農業再生協議会 委員 藤岡副会長
- ◇秋田県農産物流通販売戦略推進会議 田村副会長
- ◇秋田県農業経営・就農支援センター（運営会議） 桜田会長
- ◇秋田米新品種ブランド化戦略本部本部 本部員・生産部会員 田村副会長
- ◇秋田県農業労働力サポートセンター 委員 桜田会長
- ◇秋田県6次産業化推進協議会 田村副会長
- ◇秋田県普及指導活動における外部評価委員 桜田会長
- ◇農林水産研究イノベーション推進協議会 藤岡副会長
- ◇秋田県外国人材の受入れ・共生に係る連絡協議会 藤岡副会長
- ◇秋田版スマート農業モデル創出事業コンソーシアム《県立大学》 桜田会長
- ◇新秋田県農畜産物輸出促進協議会 桜田会長
- ◇東北ブロック6次産業化推進行動会議 構成員
- ◇東北地域農業特定技能協議会運営委員会 構成員

9 その他

- ① 活動内容やスケジュールは、役員会で協議する。
- ② 会員の活動への支援や、賛助会員等の各種事業及び催事への協力を行う。

〔 年間主要活動予定表は別紙 〕